

川の再生推進工事 in 黒目川 令和7年度 第2回意見交換会

（堤防天端「遊歩道」の再整備）

令和7年7月18日（金）

埼玉県朝霞県土整備事務所

次 第

開会

- 1 挨拶
- 2 第1回意見交換会、意見調整小会議
の結果についてのご報告
- 3 意見交換
- 4 その他

閉会

来場者の皆様へのお願い

- 会場内での飲食はご遠慮ください。
- 会場内は禁煙となっております。
- 携帯電話は、電源をお切り頂くか、マナーモードに設定のうえ、会場内での通話は御遠慮下さい。
- 本日の説明会の内容を記録として残すため、録音や写真撮影をさせていただきます。ご了承ください。
- 個人情報保護の観点から、来場者の皆様による撮影はご遠慮ください。
- スライドによる説明の際は、照明を一時的に暗くいたします。
お席をお立ちの際には、足元にご注意ください。
- 説明会の円滑な進行に、ご協力をお願いいたします。

意見交換会のルール

意見交換会において、以下のルールを定めます。

- **発言の際は手を挙げて、指名された後に発言をします。**

※初めて発言するときは所属と名前を、2回目以降も

「〇〇です」と最初に名前を教えてください。

- **挙手が複数の場合、発言の少ない方を優先します。**
- **将来に向けて、前向きな姿勢で話し合います。**
- **特定の個人や団体の批判はしません。**
- **他者の意見を尊重し、フェアプレーの精神で行います。**

本日の説明内容

- 1 第1回意見交換会、調整小会議の結果の報告
- 2 遊歩道の舗装の案について
- 3 今後の予定

1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について

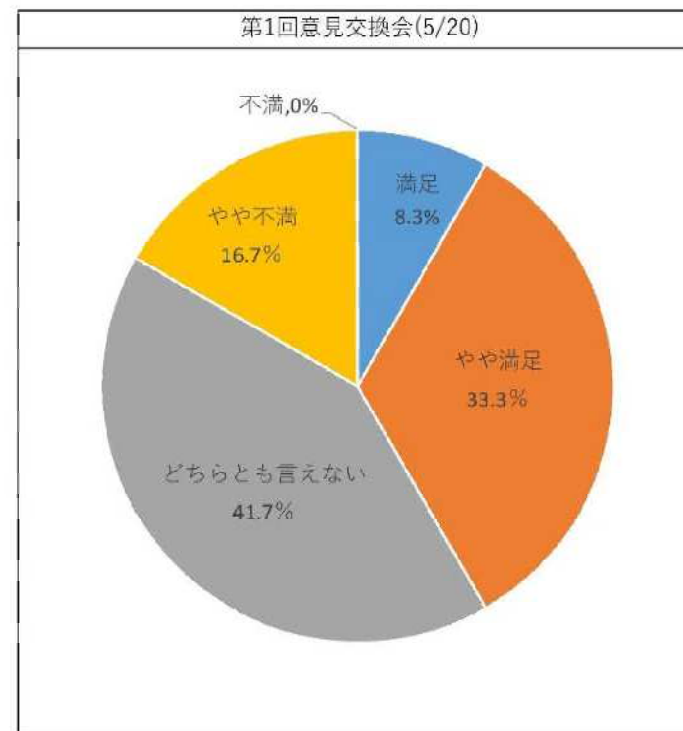
アンケートの結果について

5月20日に実施させていただいた第1回意見交換に合わせて黒目川に関するアンケートを取らせていただきました。

まずはアンケートの主な項目について結果をご報告させていただきます。

対象地区における現在の状況について満足していますか

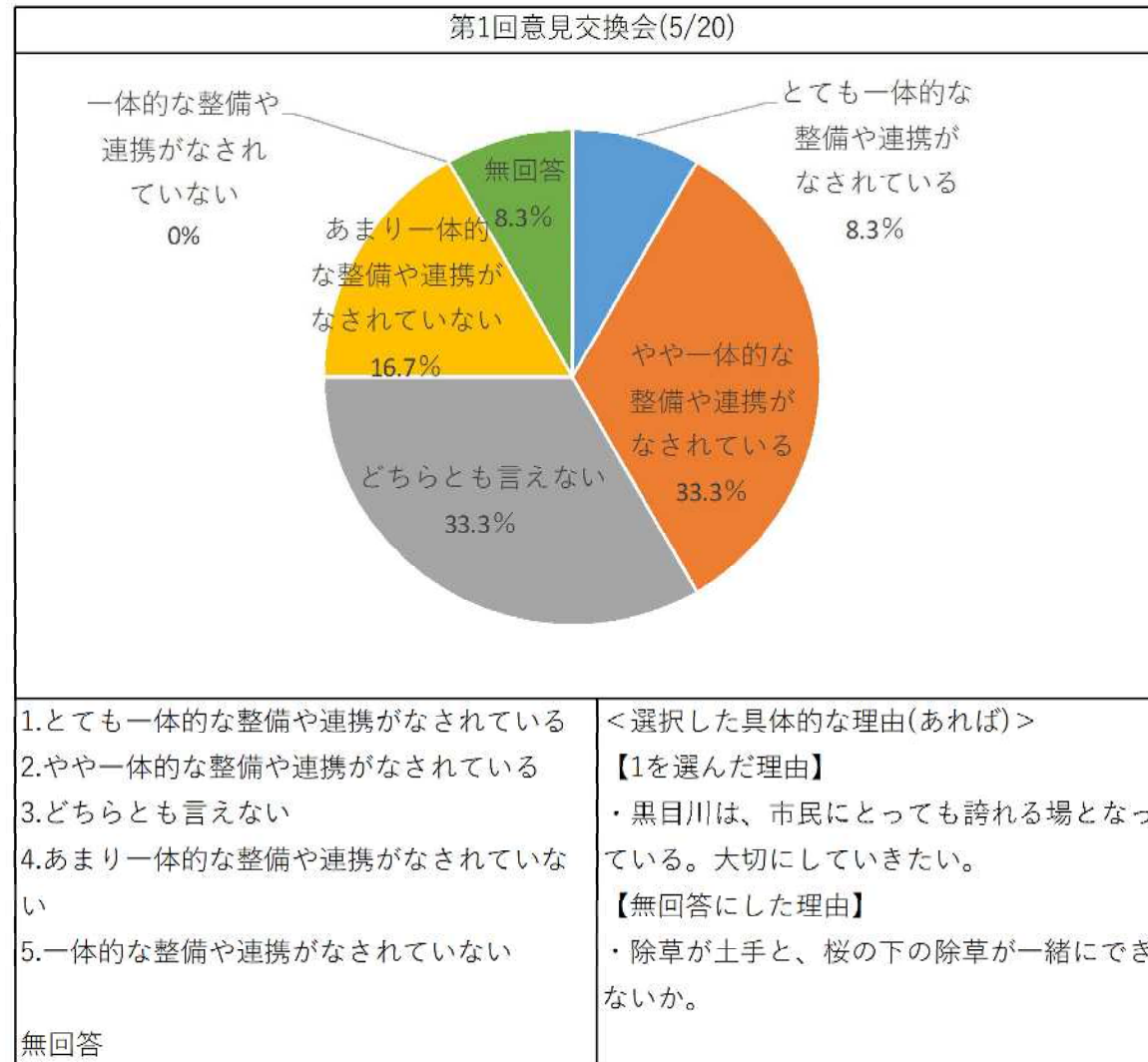
満足	1
やや満足	4
どちらとも言えない	5
やや不満	2
不満	0
総数	12



1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について

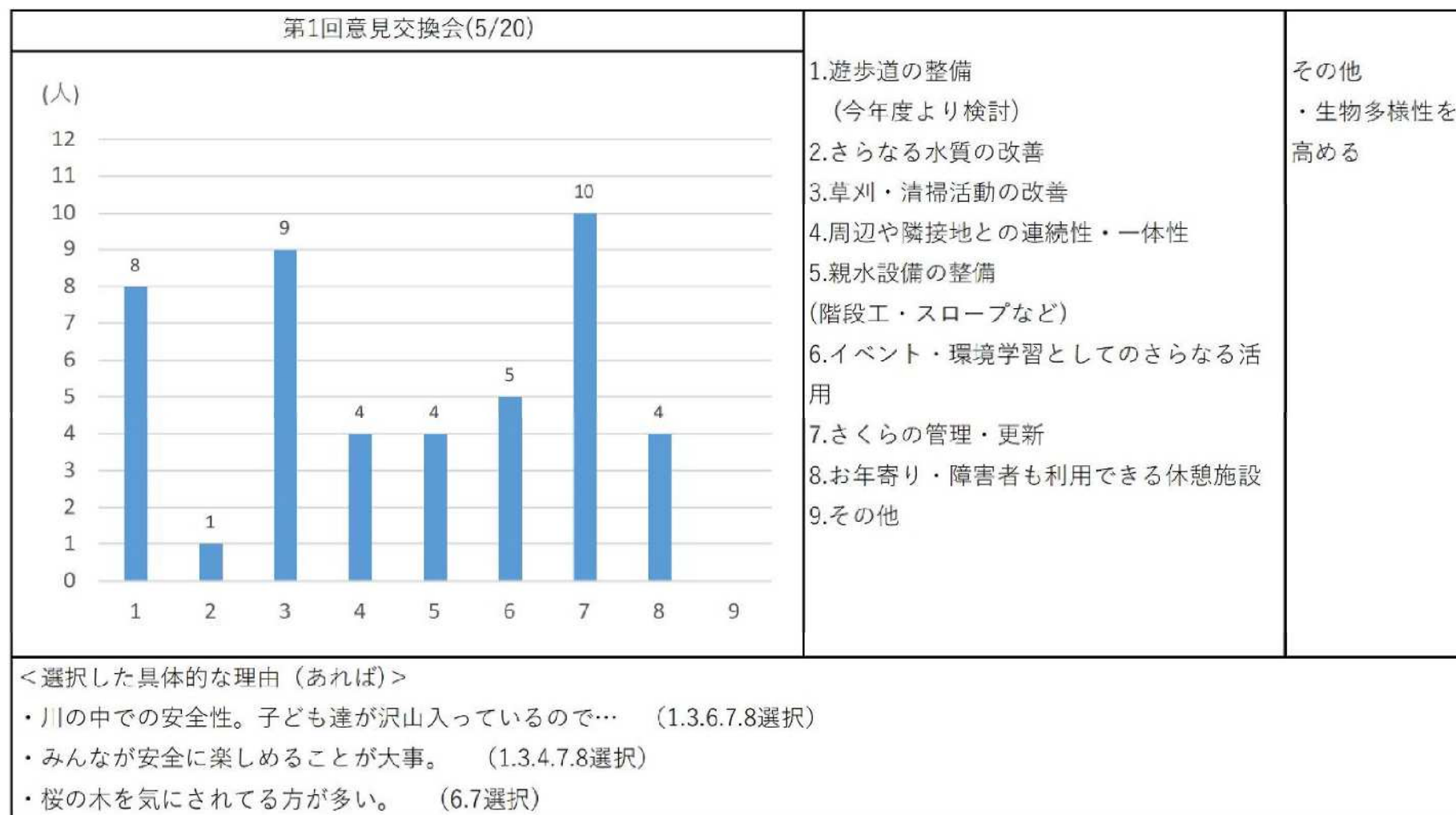
対象地区が街づくりと一体となったり、また、川を活かしたまちづくりがなされていると思いますか。

1	1
2	4
3	4
4	2
5	0
無回答	1
総数	12



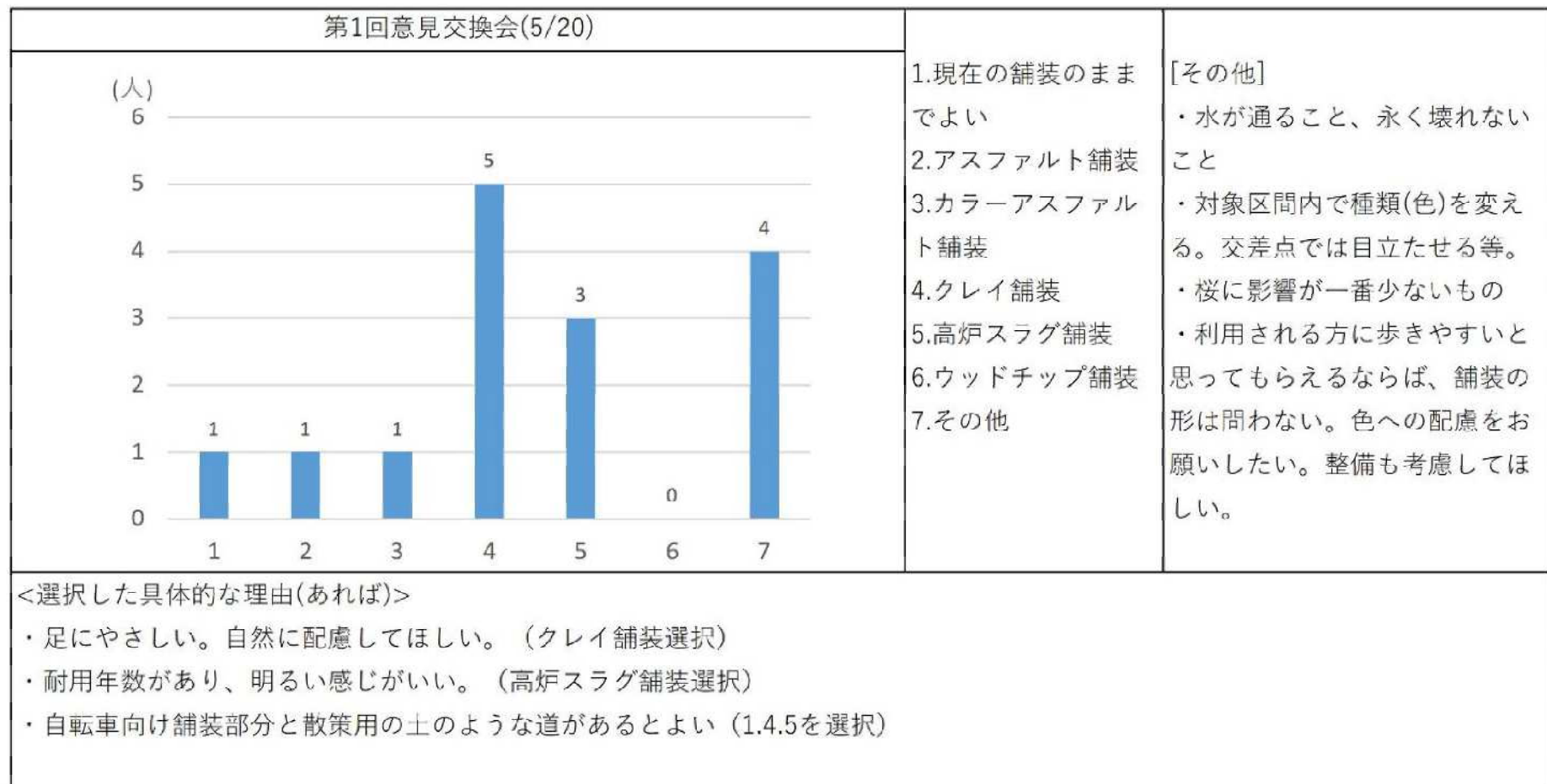
1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について

今後さらに魅力を高めていくには、なにが必要かと思いますか。

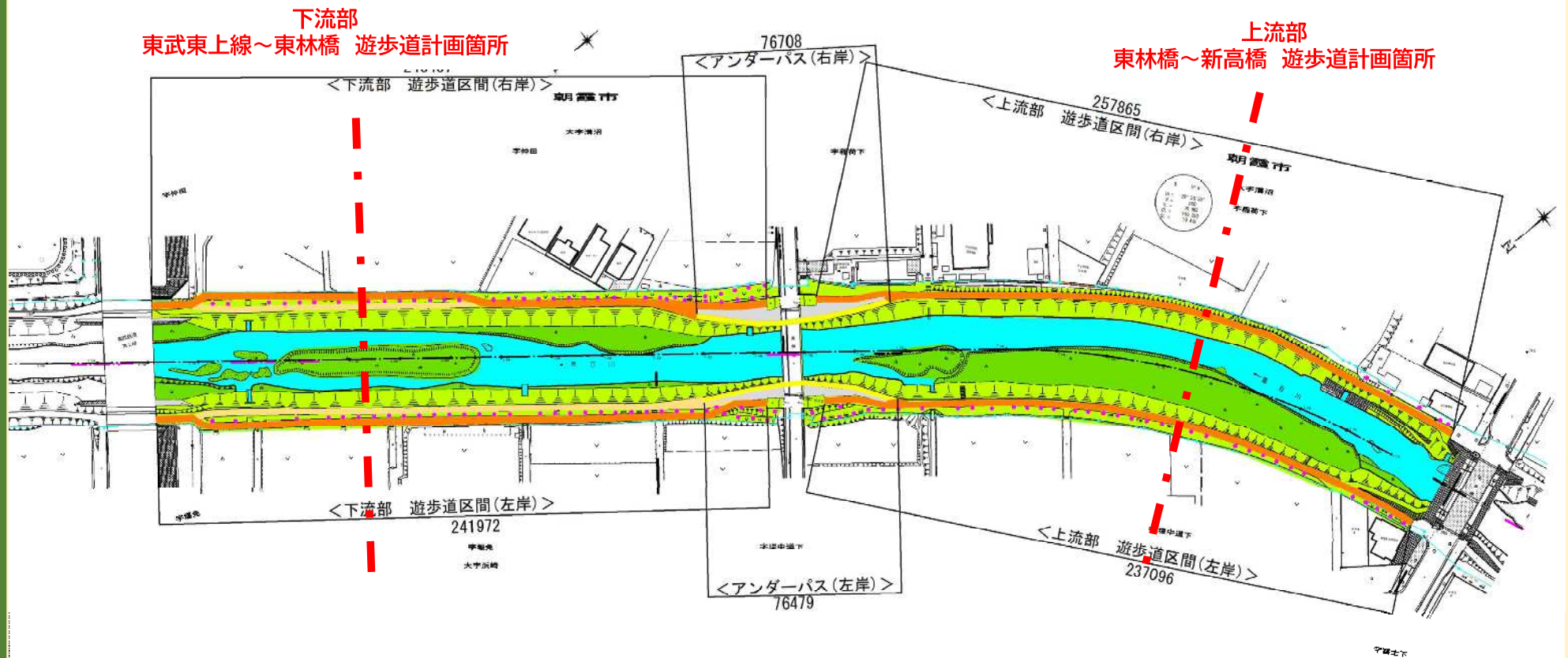


1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について

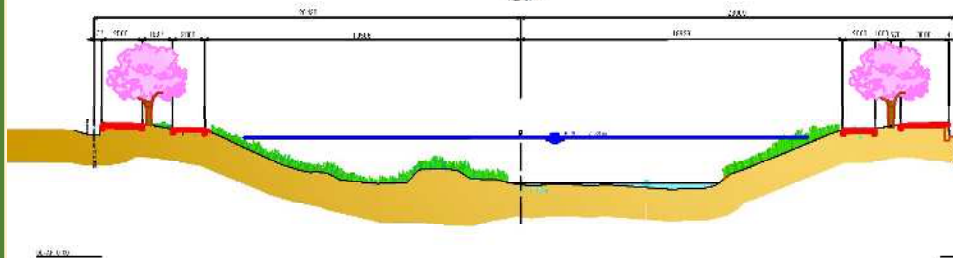
対象区間の遊歩道の整備について



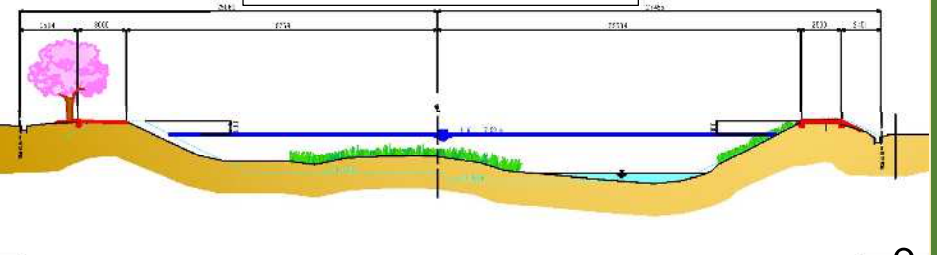
1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について



下流部 遊歩道標準断面



上流部 遊歩道標準断面



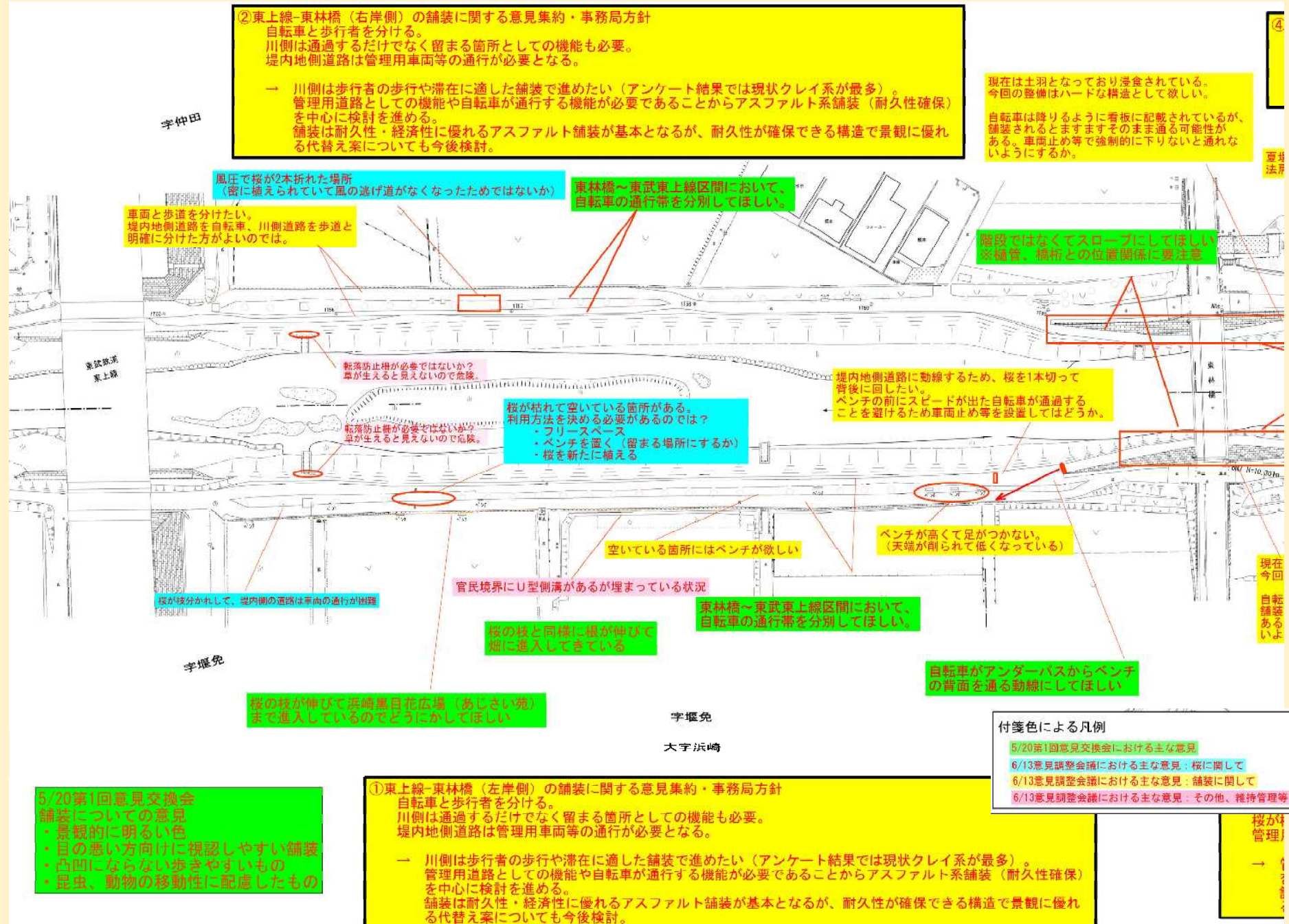
1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について

6月13日に第1回意見交換会の意見を共有し、希望者による現地踏査を実施させていただきました。

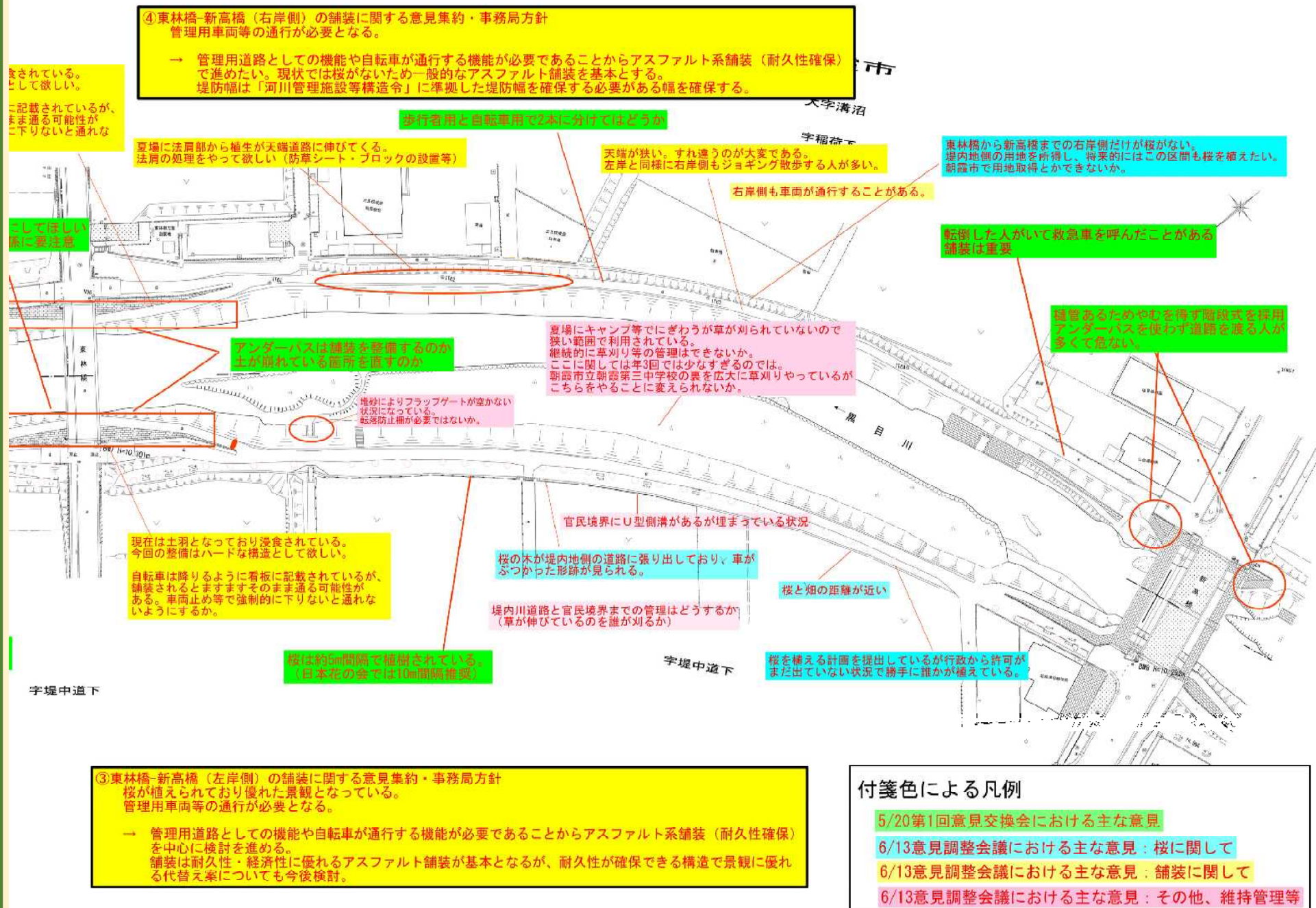
現地を直接合同で確認しつつ有意義なご意見を出していただきました。まずは、主な項目について第1回意見交換の結果も合わせてご報告させていただきます。



1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について



1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について



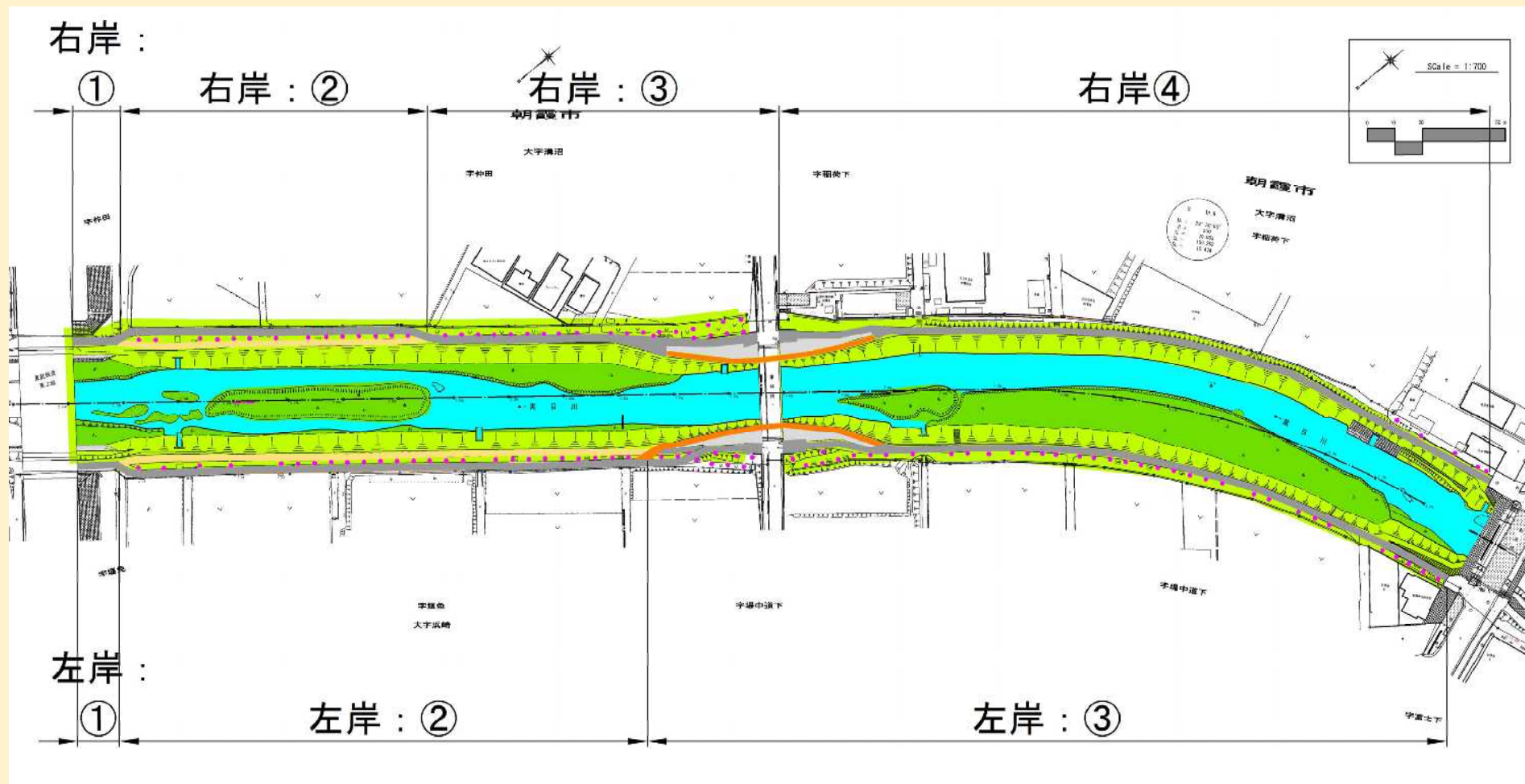
1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について

項 目	意 見	方針・対応
桜に関する意見	桜が枝分かれして、堤内側の道路は車両の通行が困難である。	堤内側の道路は原則として管理用車両が通行しない計画としています。 必要性が生じた場合は障害となる枝等を伐採します。
	桜の枝が伸びて浜崎黒目花広場（あじさい苑）まで進入しているのどうにかしてほしい。	さくらの維持管理方法を合わせて今後の継続議題としていきたいと考えます。
	桜の枝と同様に根が伸びて畑に進入してきている。	さくらの維持管理方法を合わせて今後の継続議題としていきたいと考えます。
	桜は約5m間隔で植樹されている箇所がある。 （日本花の会では10m間隔推奨）	さくらの維持管理方法を合わせて今後の継続議題としていきたいと考えます。
	桜の木が堤内地側の道路に張り出しており、車がぶつかった形跡が見られる。	一般車の乗り入れについては、制限も含めて今後検討していきます。
	桜と畑の距離が近い	さくらの維持管理方法を合わせて今後の継続議題としていきたいと考えます。
	桜を植える計画を提出しているが行政から許可がまだ出ていない状況で勝手に誰かが植えている。	さくらの維持管理方法を合わせて今後の継続議題としていきたいと考えます。
	東林橋から新高橋までの右岸側だけが桜がない。 堤内地側の用地を所得し、将来的にはこの区間も桜を植えたい。 朝霞市で用地取得とかできないか。	今後の継続議題としていきたいと考えます。
遊歩道に関する意見	東林橋～東武東上線区間において、自転車の通行帯を分別してほしい。	陸側を管理用道路とし、自転車は管理用道路を通行させる方針とします。
	自転車がアンダーパスからベンチの背面を通る動線にしてほしい	舗装で誘導するようなイメージで計画しております。
	景観的に明るい色	朝霞市景観計画において景観づくり重点地区に指定されており、適応した色を検討していきます。
	目の悪い方向性に視認しやすい舗装	現状の施設整備でそこまでの整備は困難と考えています。 今後の課題として長期的に継続して協議していきたいと考えます。
	凸凹にならない歩きやすいもの	どのようなタイプの舗装採用によっても適切な維持管理により凹凸はなくなり歩きやすさは向上します。
	天端が狭い。すれ違うのが大変である。 左岸と同様に右岸側もジョギング散歩する人が多い。	計画堤防幅の3.0mを確保します。管理用道路として幅員2.5mを確保する計画とします。
	右岸側も車両が通行することがある。	一般車の乗り入れについては、制限も含めて今後検討していきます。
	夏場に法肩部から植生が天端道路に伸びてくる。 法肩の処理をやって欲しい（防草シート・ブロックの設置等）。	舗装設置と適切な維持管理により草刈りを行うため、防草施設の設置までは本事業では考えておりません。今後も注視していきます。

項 目	意 見	方針・対応
遊歩道に関する意見	昆虫、動物の移動性に配慮したもの	舗装をする場合は自然土とは違って硬いものとなるため地中昆虫・動物等の住処や這い出し場所とならないが舗装面積はごく一部であるため大きな影響はない。 透水性等には配慮するため地中内の状況は大きな変化は生じないものと考えます。
	田島緑地ではクレイ系で完成しており歩きやすく評判も良いと聞いているので、川側の遊歩道については同じような舗装ではどうか。	分岐した川側の遊歩道は、アンケートでも上位であったクレイ舗装を採用案としています。田島緑地の状況も参考にさせていただきます。
アンダーパスに関する意見	現在は土羽となっており浸食されている。 今回の整備はハードな構造として欲しい。	歩行性と耐久性を考慮して舗装を検討します。
	自転車は降りるように看板に記載されているが、舗装されるとますますそのまま通る可能性がある。車両止め等で強制的に下りないと通れないようにするか。	車両止めまでの設置は現在考えておりません。
	堤内地側道路に動線するため、桜を1本切って背後に回したい。 ベンチの前にスピードが出た自転車が通過することを避けるため車両止め等を設置してはどうか。	アンダーパスを通行してから陸側の管理用道路に誘導することを考えています。 車両止めまでの設置は現在考えておりません。
	踏段ではなくてスロープにしてほしい ※樋管、橋桁との位置関係に要注意	スロープで検討しております。
	桜が枯れて空いている箇所がある。 利用方法を定める必要があるのでは？ ・フリースペース ・ベンチを置く（留まる場所にするか） ・桜を新たに植える。	設置方法、維持管理方法を合わせて今後の継続議題としていきたいと考えます。
その他・維持管理等	空いている箇所にはベンチが欲しい	設置方法、維持管理方法を合わせて今後の継続議題としていきたいと考えます。
	ベンチが高く足がつかない。 （天端が削られて低くなっている）	現在の高さから床掘りなしで路盤工、表層舗装を設置します。ベンチの部分についてかさ上げすることにより利用しやすい高さに仕上げます。
	堤内側道路と官民境界までの管理はどうするか （草が伸びているのを誰が刈るか）	設置方法、維持管理方法を合わせて今後の継続議題としていきたいと考えます。
	樋管部には転落防止柵が必要ではないか？ 草が生えたと見えないので危険。	安全性を確保するため、管理者と協議して対応していきます。
	砂によりフラップゲートが空かない状況になっている。 転落防止柵が必要ではないか。	管理者の朝霞市のほうで対策を検討・計画中です。
	官民境界にU型側溝があるが埋まっている状況	定期的に維持管理を実施していきます。
	農地として隣接箇所を使用している方にとっては乗り入れが必要であれば、鍵付きの車両止めを設置して許可された農地関係者に鍵を持たせるといったことが良いのではないか	一般車の乗り入れについては、制限も含めて今後検討していきます。
	現在朝霞市立朝霞第三中学校前の河道内を課外事業のために草刈り管理をしているが、そこよりも新高橋の下流部の広場のほうが市民に多く利用されている。このあたりも草刈り管理できないか。	今後の継続議題としていきたいと考えます。

1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について

遊歩道・管理用道路の舗装について整理しました。
まず対象区間の特徴から左岸3区間、右岸4区間の全7区間について区分けしました。



1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について

【左岸側】

区 間	特 徴	舗装採用案
左岸①	東武東上線のボックスを抜けたところで特に景観等に配慮する必要性は低く、人が留まるような区間でもない。	舗装案：透水性アスファルト舗装
左岸②	管理用道路と遊歩道を完全に分離できる区間である。 川側の遊歩道は人が留まれてゆっくり過ごせる空間とする。 また、陸側の管理用道路の機能を有する道路は、自転車や管理用車両を通すことを前提とする。 【桜 堤】	川側舗装案：土系（クレイ）舗装 陸側舗装案：透水性アスファルト舗装 （一般部との差別化を図り桜が並ぶ区間はカラーAs、スラグ系舗装等の採用について意見聴取したい。）
左岸③	管理用道路と遊歩道を兼ねた道路としての機能が必要となる。 管理用道路としての機能が必要となるため、車両が通過できる耐久性のある舗装が必要となる。 【桜 堤】	舗 装 案：透水性アスファルト舗装 （一般部との差別化を図り桜が並ぶ区間はカラーAs、スラグ系舗装等の採用について意見聴取したい。）

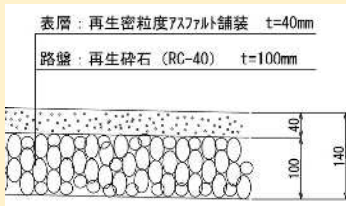
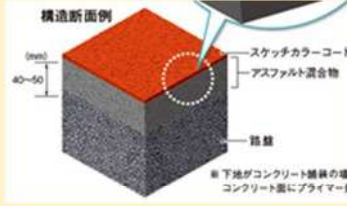
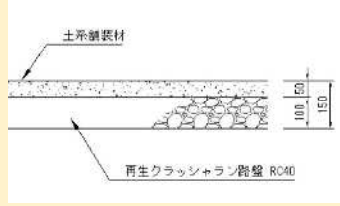
1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について

【右岸側】

区 間	特 徴	舗装採用案
右岸①	東武東上線のボックスを抜けたところで特に景観等に配慮する必要性は低く、人が留まるような区間でもない。	舗装案：透水性アスファルト舗装
右岸②	管理用道路と遊歩道を完全に分離できる区間である。 川側の遊歩道は人が留まれてゆっくり過ごせる空間とする。 また、陸側の管理用道路の機能を有する道路は、自転車や管理用車両を通すことを前提とする。 【桜 堤】	川側舗装案：上系（クレイ）舗装 陸側舗装案：透水性アスファルト舗装 （一般部との差別化を図り桜が並ぶ区間はカラーAs、スラグ系舗装等の採用について意見聴取したい。）
右岸③	管理用道路と遊歩道を兼ねた道路としての機能が必要となる。 管理用道路としての機能が必要となるため、車両が通過できる耐久性のある舗装が必要となる。 【桜 堤】	舗 装 案：透水性アスファルト舗装 （一般部との差別化を図り桜が並ぶ区間はカラーAs、スラグ系舗装等の採用について意見聴取したい。）
右岸④	主に管理用道路の機能が必要な道路である。 ただし、堤防上を散歩、ジョギング、サイクリング等の利用者が多い。	舗 装 案：アスファルト舗装

1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について

以下のとおり舗装に関する推奨案を更新しました。

	①透水性アスファルト舗装	②透水性カラーアスファルト舗装	③クレイ（土系）舗装	④高炉スラグ舗装				
イメージ								
特徴	一般的なアスファルト舗装。 他舗装案に比べ安価。	アスファルト舗装表面をカラーリングしたもの。 カラーバリエーションが豊富で景観性に優れる。	土本来の柔らかさを有しながら、泥濘化や埃の発生等を改善し、天候に関係なく歩きやすい。 管理用車両2tまでは対応可能。	透水性と保水性を有しており、打ち水効果により涼しく感じる。 スラグを素材としており、再利用の観点からも環境に優しい。				
桜への影響	透水性舗装にすることで水を地中に浸透させることが可能。	アスファルト舗装同様の透水性を有しており樹木の育成には問題なし。	透水性や保水性を有しており、樹木の育成には問題なし。	透水性・保水性に最も優れ、雨水を地中に浸透・還元させることにより樹木の成長を促進する。				
施工性	構造がシンプルなので工事期間は短い	カラー材を塗布するため、アスファルト舗装よりは手間がかかる	施工は容易で工事期間は短い	敷き均し後の養生期間が1週間程度必要。				
維持管理	耐用年数は5～15年程度	耐用年数は5～15年程度 塗装自体は5年程度で剥がれやすい	耐用年数は5年未満程度	耐用年数は15年以上				
舗装構成（厚み）				<table border="1"><tr><td>カラーサンド</td><td>7cm</td></tr><tr><td>路盤（C30-0）</td><td>10cm</td></tr></table> 管理用車両4t乗用車の場合は、 表層：10cm 路盤：15cm	カラーサンド	7cm	路盤（C30-0）	10cm
カラーサンド	7cm							
路盤（C30-0）	10cm							
採用実績	黒目川にて採用実績あり	新横浜鳥山川の桜並木にて採用実績あり	黒目川（朝霞市田島地区）にて採用実績あり	元荒川（埼玉県）、文蔵川（埼玉県）等、桜並木の河川遊歩道にて採用実績あり				
アンケート及び意見交換会等の結果	意見交換会・調整小会議での推奨案（機能、耐久性等） 左右岸管理用道路（川側遊歩道以外）で採用候補	①案の対抗案であるが経済性に劣る 景観地区になっているため彩度の高い色は不向き。アスファルト色からわざわざ変える必要があるか。	アンケート結果 1 位 右岸②左岸②区間の川側遊歩道で採用候補	アンケート結果 2 位 ①案、③案の対抗案であるが経済性に劣る。				

17

1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について

舗装のイメージ（左岸②区間）



陸側管理用道路
透水性アスファルト舗装

川側：遊歩道
クレイ系舗装

1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について

舗装のイメージ（左岸③区間）



透水性アスファルト舗装

1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について

舗装のイメージ（右岸④区間）



アスファルト舗装

1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について

【スロープについて】

現況のスロープは、土羽による簡易な坂路構造を採用していたが、出水等で土砂の流出傾向がみられることから、本事業で強固な耐久性のある構造に改修する。



1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について

【スロープについて】

舗装構造としては、最も安価で耐久性のある一般的なアスファルト舗装が候補案となる。
車両の通行はないが、強固な構造が必要（耐久性のある高炉スラグ、カラー舗装等が対抗案）。

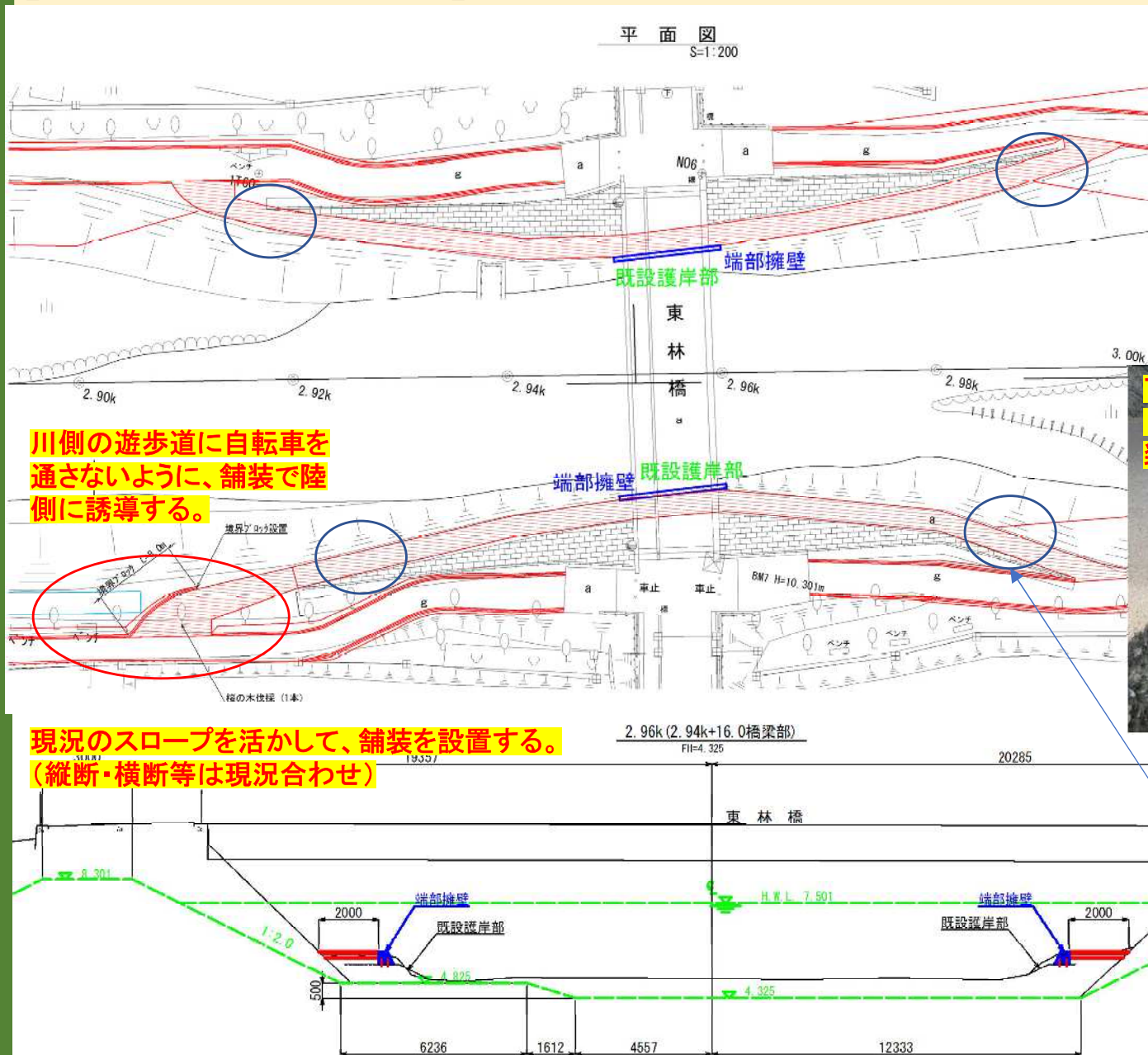
配慮項目

- ・歩行性
- ・耐久性
- ・経済性
- ・維持管理



1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について

【スロープについて】



現況

(洗い出されている護岸を利用してコンクリート舗装止めを設置)



下流別箇所のスロープ

(低い箇所は流水で洗われるため舗装止めが必要)



下流別箇所のスロープ

(看板より目につきやすい)



1. 第1回意見交換会、調整小会議の結果について

【スロープの接続】

スロープを上がってきた自転車が、背後の透水性アスファルト舗装で整備された管理用道路を通行するように舗装を連続させた案です。

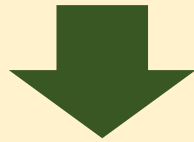


4. 今後の予定

第1回意見交換会



第2回意見交換会



第3回意見交換会

実施時期：令和7年5月20日実施
内 容：意見交換会の目的・概要
・検討方針等についての
意見交換

実施時期：令和7年7月18日（今回）
内 容：第1回意見交換会の意見お
よび決定事項を盛り込んだ
遊歩道の設置案の提示

実施時期：令和7年8月ごろ
内 容：第1回、第2回意見交換会
の意見を盛り込んだ遊歩
道の最終案の提示

ご清聴ありがとうございました。

お問合せ先

埼玉県朝霞県土整備事務所 河川担当

〒351-0033 朝霞市浜崎678番地

電話 048-471-4670

